

2010年3月期第2四半期累計期間 決算補足資料

1. 決算概観	p. 1
2. 第2四半期 業績のポイント	p. 2
3. 損益計算書の概要	p. 3~4
4. 貸借対照表の概要	p. 5
5. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況	p. 6
6. 主要製品売上の状況	p. 7
7. 開発品一覧	p. 8~10
8. 主な業績項目の推移	p. 11
9. 杏林製薬資料	p. 12~15
10. 参考資料:株式会社キョーリン個別業績と予想	p. 16
11. 参考資料:主な子会社の業績と予想	p. 17

2009年11月10日

株式会社キョーリン



2010年3月期第2四半期累計期間 決算概観(連結)

10年3月期 第2四半期累計期間連結業績(実績)

【売上】 国内新医薬品等の売上が順調に推移し、売上高は457億円（前年比13.5%増）となりました。

【利益】 日清キョーリン製薬(株)の統合等により販売費及び一般管理費が増加しましたが、売上の増加と売上原価率の改善により売上総利益が増加し、営業利益は46億円(前年比267.4%増)、当期純利益は33億円となりました。

10年3月期 通期連結業績(予想)

【売上】 国内新医薬品における主要製品の売上拡大及び後発医薬品の伸長により、売上高は995億円(前年比9.5%増)となる見込みです。

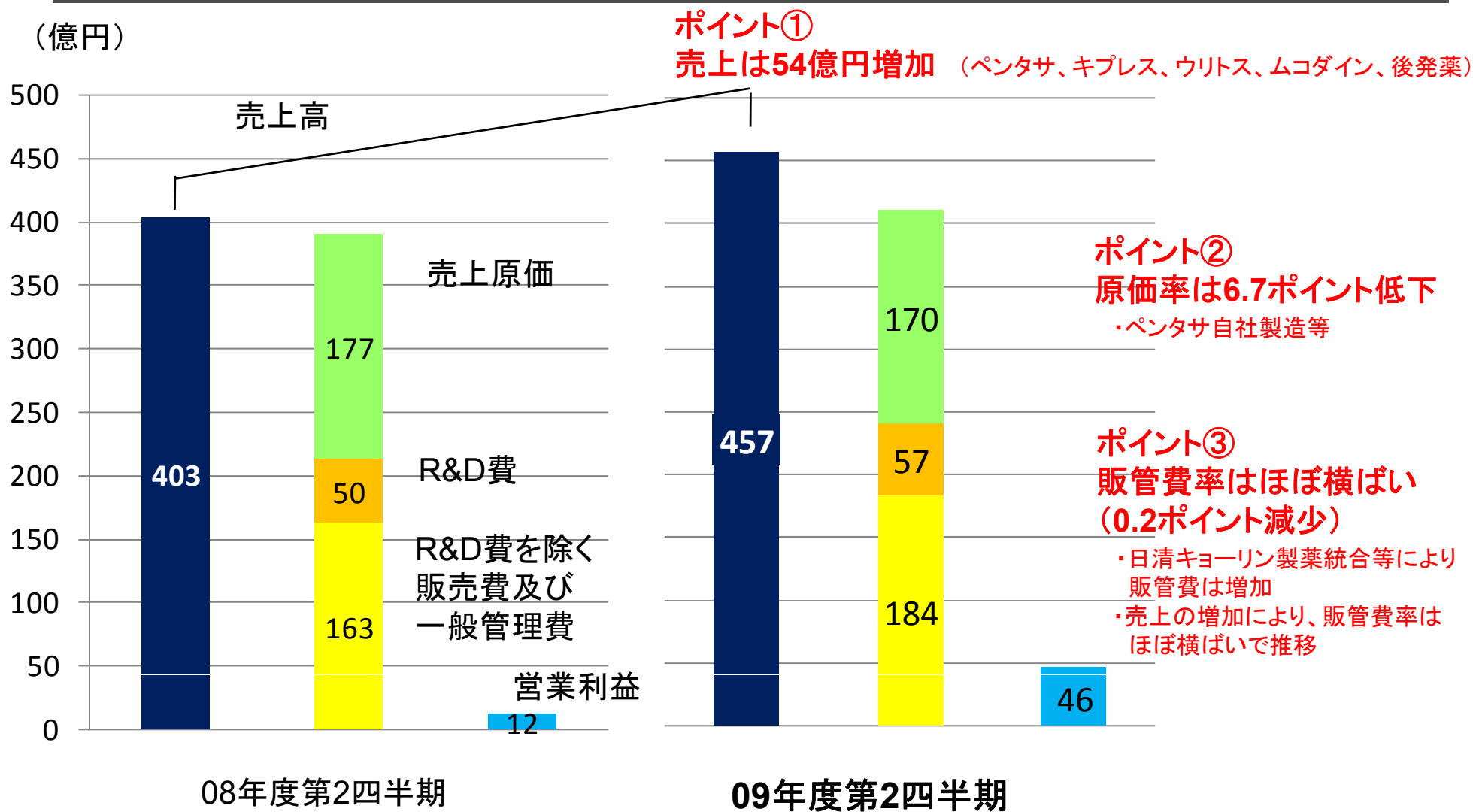
【利益】 販売費及び一般管理費は日清キョーリン製薬(株)との統合等により増加しますが、売上増と売上原価率の低下による売上総利益の増加により、営業利益は120億円(前年比34.0%増)、当期純利益は81億円(前年比297.6%増)となる見込みです。

単位: (百万円)	09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期	前年比
売上高	40,261	45,714	13.5%
営業利益	1,243	4,569	267.4%
経常利益	1,175	5,172	339.9%
当期純利益	▲1,606	3,293	—
EPS	▲21.48円	44.05円	—
総資産	123,299	127,728	3.6%
純資産	94,304	100,024	6.1%

09年3月期	10年3月期 (予想)	前年比
90,889	99,500	9.5%
8,952	12,000	34.0%
9,208	12,800	39.0%
2,037	8,100	297.6%
27.24円	108.35円	—
124,552	—	—
96,501	—	—

10年3月期 (当初予想)
96,400
11,500
12,300
7,300
97.64円
—
—

第2四半期 業績のポイント



損益計算書の概要：連結①

(単位:百万円)

	09年3月期 第2四半期		10年3月期 第2四半期累計期間			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	40,261	100.0%	45,714	100.0%	13.5%	5,453
新医薬品	33,046	82.1%	38,011	83.1%	15.0%	4,965
国内	31,239	77.6%	36,733	80.4%	17.6%	5,493
海外	1,806	4.5%	1,278	2.8%	▲29.2%	▲528
後発医薬品	2,929	7.3%	3,584	7.8%	22.3%	654
ヘルスケア	3,684	9.2%	3,469	7.6%	▲5.8%	▲214
その他	600	1.5%	649	1.4%	8.1%	48

<適応範囲及び持分法の適用について>

連結子会社7社：杏林製薬(株) (株)杏文堂
Kyorin USA,Inc. Kyorin Europe GmbH
ActivX Biosciences,Inc.
キョーリンリメディオ(株)
ドクタープログラム(株)

持分法適用会社1社：日本理化学薬品(株)

<当期のポイント>

対前年

- 売上高 45,714百万円 (+5,453百万円)
- 国内新医薬品 36,733百万円 (+5,493百万円)

前期実績 当期実績(億円)

- ・キプレス 104 → 127 (+23)
- ・ムコダイン 87 → 93 (+6)
- ・ペンタサ 71 → 97 (+26)
- ・ウリトス 6 → 16 (+10)

- 海外新医薬品 1,278百万円 (▲528百万円)
- ・ガチフロキサシン 14 → 11 (▲3)

- 後発医薬品 3,584百万円 (+654百万円)

* 承継品、重点商品等による売上増加

- ヘルスケア 3,469百万円 (▲214百万円)
- ・ミルトン 9 → 10 (+1)
- ・ドクタープログラム社 19 → 16 (▲3)

- その他 649百万円 (+48百万円)

損益計算書の概要：連結一②

(単位:百万円)

	09年3月期 第2四半期		10年3月期 第2四半期累計期間			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	40,261	100.0%	45,714	100.0%	13.5%	5,453
売上原価	17,718	44.0%	17,035	37.3%	▲3.9%	▲683
売上総利益	22,542	56.0%	28,679	62.7%	27.2%	6,137
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	21,298 (4,968)	52.9% 12.3%	24,109 (5,670)	52.7% 12.4%	13.2% (14.1%)	2,811 (702)
営業利益	1,243	3.1%	4,569	10.0%	267.4%	3,325
営業外収益	418	1.0%	671	1.5%	60.7%	253
営業外費用	486	1.2%	69	0.2%	▲85.8%	▲416
経常利益	1,175	2.9%	5,172	11.3%	339.9%	3,996
特別利益	92	0.2%	9	0.0%	▲89.6%	▲83
特別損失	3,116	7.7%	50	0.1%	▲98.4%	▲3,066
税金等調整前 四半期純利益	▲1,847	▲4.6%	5,131	11.2%	—	6,979
法人税・住民税 及び事業税	1,353	3.4%	2,129	4.6%	57.3%	775
法人税等調整額	▲1,594	▲4.0%	▲290	▲0.6%	—	1,303
四半期純利益	▲1,606	▲4.0%	3,293	7.2%	—	4,900

<当期のポイント>

◆原価率：前年比 6.7ポイント低下
(44.0%→37.3%)

* 低下要因：ペンタサ自社製造等に伴い低下

◆研究開発費率：前年比 0.1ポイント上昇
(12.3%→12.4%)

* 50億円→57億円 (7億円増加)
増加要因：日清キョーリン製薬の統合

◆販管費率(除R&D費)：前年比0.3ポイント低下
(40.6%→40.3%)

* 163億円→184億円 (21億円増加)
日清キョーリン製薬の統合などにより販管費 (除R&D費) は増加したものの、売上増加により販管費率 (除R&D費) は0.3ポイント低下

■営業利益 4,569百万円
(+3,325百万円)

* 営業利益率は10.0%と6.9ポイント上昇

■四半期純利益 3,293百万円
(+4,900百万円)

■配当 (第2四半期末) 10円00銭

貸借対照表の概要：連結

(単位：百万円)

	09年3月期		10年3月期第2四半期累計期間		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
流動資産	75,140	60.3%	79,729	62.4%	4,589
現金および預金	12,223		16,682		
受取手形及び売掛金	35,615		32,054		
有価証券	3,500		4,954		
棚卸資産	18,187		19,551		
その他流動資産	5,613		6,487		
固定資産	49,412	39.7%	47,999	37.6%	▲1,412
有形固定資産	17,122		16,650		
無形固定資産	1,632		1,306		
投資その他	30,657		30,041		
資産合計	124,552	100.0%	127,728	100.0%	3,176
流動負債	21,715	17.4%	21,512	16.8%	▲202
支払手形及び買掛金	8,258		8,591		
その他流動負債	13,456		12,921		
固定負債	6,336	5.1%	6,191	4.9%	▲144
負債合計	28,051	22.5%	27,704	21.7%	▲347
株主資本	97,513	78.3%	100,116	78.4%	2,602
評価・換算差額等	▲1,012	▲0.8%	▲91	▲0.1%	920
純資産合計	96,501	77.5%	100,024	78.3%	3,523
負債及び純資産合計	124,552	100.0%	127,728	100.0%	3,176

<当期のポイント>

■ 流動資産： 4,589百万円増

- ・現金、預金の増加 (4,458百万円増)
- ・受取手形、売掛金の減少 (3,560百万円減)
- ・有価証券の増加 (1,453百万円増)
- ・棚卸資産の増加 (1,363百万円増)
- ・その他流動資産の増加 (873百万円増)

■ 固定資産： 1,412百万円減

- ・有形固定資産の減少 (471百万円減)
- ・無形固定資産の減少 (325百万円減)
- ・投資その他の減少 (616百万円減)

■ 流動負債： 202百万円減

- ・支払手形及び買掛金の増加 (332百万円増)
- ・その他流動負債の減少 (535百万円減)

■ 固定負債： 144百万円減

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況<連結>第2四半期



(単位:百万円)

	07年3月期 第2四半期	08年3月期 第2四半期	09年3月期 第2四半期	10年3月期第2四半期		09年3月期	10年3月期 (予想)	10年3月期 (当初予想)
				実績	増減比			
研究開発費	3,982	5,676	4,968	5,670	14.1%	10,531	12,500	11,600
設備投資 (計上ベース)	1,223	1,451	1,115	709	▲36.4%	1,612	1,700	2,600
減価償却費	2,304	2,214	2,028	1,362	▲32.8%	3,799	2,900	3,000

<設備投資の状況(実績/計画)>

	09年3月期	10年3月期	
	実績	第2四半期実績	通期計画
(実績)			
工場設備	5億円	4億円	
管理・販売設備	7億円	1億円	
研究用設備	4億円	2億円	
(実績/計画)			
工場設備			8億円
管理・販売設備			5億円
研究用設備			4億円

主要製品売上の状況：第2四半期

(単位:億円)

	07年3月期 第2四半期	08年3月期 第2四半期	09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期		09年3月期	10年3月期 (修正予想)	10年3月期 (当初予想)	
				実績	前 同 比				
国内新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	69	79	104	127	22.5%	252	287	274
	ムコダイン (去痰剤)	89	90	87	93	7.2%	206	215	215
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	40	44	71	97	37.6%	157	193	186
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	29	28	26	23	▲9.8%	50	47	50
	ウリトス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	—	5	6	16	142.8%	20	37	37
	アプレース (抗潰瘍剤)	10	9	8	7	▲5.7%	15	14	15
	ロカルトロール (骨粗鬆症治療剤)	10	9	8	7	▲9.1%	15	14	14
海外新医薬品	海外売上合計	22	25	18	13	▲29.2%	38	26	27
	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ 含む)	18	16	14	11	▲18.0%	25	22	23
	海外売上比率	6.3%	6.4%	4.5%	2.8%	—	4.1%	2.6%	2.8%
ヘルスケア	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	10	10	9	10	5.0%	18	20	20

開発品一覧①(09年11月10日現在)

Ph II ~ 申請中

※: 前回(10年3月期第1四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
	(ガルデルマ社 発売中)	塩酸アモロルフィン ネイルラッカー	爪白癬治療剤	自社	日本初のネイルラッカー製剤	
Ph II (05年3月)	(エーザイ Ph III)	AS-3201 (錠)	糖尿病合併症 治療剤	大日本 住友製薬	アルドース還元酵素を強力に阻害することにより細胞内のソルビトール蓄積を抑制し、糖尿病性神経障害を改善する	・大日本住友製薬と 共同開発(国内のみ) ・Ph II b(07年9月)開始
Ph II (08年2月)	Ph II (07年9月)	KRP-104	糖尿病治療剤	自社	DPPIV阻害剤。インスリン分泌ホルモンの分解を抑えることにより血糖低下作用を示す。副作用の発現が少ない糖尿病治療が期待される	※海外Ph II b開始 (09年11月) ・国内Ph II b開始 (09年3月)
Ph II (08年8月)	(米国:アボット 申請中 欧州他: ムンディファーマ Ph III)	KRP-108	気管支喘息 治療剤	スカイ ファーマ社	ステロイド及び長時間作動型β作動薬の配合剤で利便性やコンプライアンスに優れる	スカイファーマ社と ライセンス契約(08年4月)

※: KRP-101及びKRP-204については開発戦略上の観点から開発中止とし、開発品一覧から削除

開発品一覧②(09年11月10日現在)

POCプロジェクト(前臨床～Ph I)

※: 前回(10年3月期第1四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
	Ph I (07年7月)	KRP-203	自己免疫疾患、 臓器移植	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調整剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ノバルティス社と ライセンス契約(06年2月)
	Ph I (07年10月)	KRP-105	脂質代謝改善	自社	選択性の高いPPAR α アゴニスト。KRP-101よりもさらにPPAR α 受容体に対して選択性が高い。脂質改善作用に加え、アディポネクチンの増加、レプチンの減少、体重増加抑制作用などが動物実験で確認されており、新たな脂質改善剤として期待される	
前臨床		KRP-107	自己免疫疾患、 臓器移植	自社	S1P1受容体選択的アゴニスト。	
前臨床		KRP-109	急性肺障害	自社	肺移行性の高い好中球エラスターゼ阻害剤。	

導入品

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
臨床試験 準備中	Ph III (Merz社)	※Neramexane	耳鳴	Merz社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	メルツ社とライセンス契約 (09年11月)

開発品一覧③(09年11月10日現在)

導出品の状況

※: 前回(10年3月期第1四半期)からの変更点を示す

製品名・ 開発コード	導出先・ 共同研究先	開発段階	薬効	起源	備考
アルファガン/ アルファガンP	千寿製薬	国内PhⅢ (07年7月)	緑内障治療薬	米国 アラガン社	・アラガン社より導入 (ガチフロキサシン点眼液のクロスライセンス) ・千寿製薬に導出(04年5月)
ケタス	米国 メディシノバ社	海外PhⅡ (05年8月)	脳血管障害治療薬	自社	・多発性硬化症の適応での日本、中国、 韓国、台湾を除く全世界における独占的 な開発、製造販売権を供与(04年10月) 08年4月 PhⅡの結果を公表
KCA-757	米国 メディシノバ社	海外PhⅢ (気管支喘息: 06年11月) 海外PhⅡ/Ⅲ (間質性膀胱炎: 05年5月)	気管支喘息治療薬 間質性膀胱炎治療薬	自社	・日本、中国、韓国、台湾を除く全世界に おける独占的な開発、販売権を供与 ・間質性膀胱炎:07年1月に結果を公表、 開発を中断 ・気管支喘息:海外PhⅢ一時停止
KRP-203	スイス ノバルティス社	海外PhⅠ (07年7月)	自己免疫疾患、 臓器移植	自社	・移植用の免疫調整剤として、全世界の開発及び 販売権、自己免疫疾患及びその他の疾患用剤と して、日本、中国、韓国、台湾を除く全世界の 開発及び販売権(なお、炎症性腸疾患用剤と しては、全世界の権利を留保している)を供与 (06年2月)

主な業績項目の推移：連結

(単位:百万円)

	08年3月期 第2四半期	09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期	09年3月期	10年3月期 (予想)	10年3月期 (当初予想)
売上高 (海外売上高)	39,363 (2,518)	40,261 (1,835)	45,714 (1,305)	90,889 (3,830)	99,500 (2,600)	96,400 (2,700)
売上原価 (売上原価率)%	14,701 (37.3%)	17,718 (44.0%)	17,035 (37.3%)	36,791 (40.5%)	—	—
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	21,873 (55.6%)	21,298 (52.9%)	24,109 (52.7%)	45,146 (49.7%)	—	—
うち研究開発費 (研究開発费率)%	5,676 (14.4%)	4,968 (12.3%)	5,670 (12.4%)	10,531 (11.6%)	12,500 (12.6%)	11,600 (12.0%)
営業利益 (営業利益率)%	2,788 (7.1%)	1,243 (3.1%)	4,569 (10.0%)	8,952 (9.8%)	12,000 (12.1%)	11,500 (11.9%)
経常利益 (経常利益率)%	3,118 (7.9%)	1,175 (2.9%)	5,172 (11.3%)	9,208 (10.1%)	12,800 (12.9%)	12,300 (12.8%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率)%	953 (2.4%)	▲1,606 (▲4.0%)	3,293 (7.2%)	2,037 (2.2%)	8,100 (8.1%)	7,300 (7.6%)
一株当たり当期利益(円)	12.74円	▲21.48円	44.05円	27.24円	108.35円	97.64円
資本金	700	700	700	700		
総資産	121,776	123,299	127,728	124,552		
純資産	97,427	94,304	100,024	96,501		
一株当たり純資産(円)	1,301.82円	1,260.93円	1,338.01円	1,290.67円		
自己資本利益率%	1.0%	▲1.7%	3.3%	2.1%		
自己資本比率%	80.0%	76.5%	78.3%	77.5%		
人員(人)	2,003人	2,059人	2,262人	2,247人		
設備投資	1,451	1,115	709	1,612	1,700	2,600
減価償却費	2,214	2,028	1,362	3,799	2,900	3,000

損益計算書の概要：杏林製薬①

(単位：百万円)

	09年3月期 第2四半期		10年3月期 第2四半期累計期間			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	34,425	100.0%	39,545	100.0%	14.9%	5,120
新医薬品	32,998	95.9%	37,998	96.1%	15.2%	5,000
国内	31,239	90.8%	36,733	92.9%	17.6%	5,493
海外	1,758	5.1%	1,264	3.2%	▲28.1%	▲493
後発医薬品	146	0.4%	210	0.5%	44.1%	64
ヘルスケア	1,281	3.7%	1,337	3.4%	4.4%	56

<当期のポイント>

■ 売上高 39,545百万円 (+5,120百万円)

● 国内新医薬品 36,733百万円 (+5,493百万円)

	前期実績	当期実績 (億円)
・キプレス	104	→ 127 (+23)
・ムコダイン	87	→ 93 (+6)
・ペンタサ	71	→ 97 (+26)
・ウリトス	6	→ 16 (+10)

● 海外新医薬品 1,264百万円 (▲493百万円)

・ガチフロキサシン 14 → 11 (▲3)

● 後発医薬品 210百万円 (+64百万円)

● ヘルスケア 1,337百万円 (+56百万円)

・ミルトン 9 → 10 (+1)

損益計算書の概要：杏林製薬－②

(単位：百万円)

	09年3月期 第2四半期		10年3月期 第2四半期累計期間			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	34,425	100.0%	39,545	100.0%	14.9%	5,120
売上原価	14,096	40.9%	13,183	33.3%	▲6.5%	▲912
売上総利益	20,328	59.1%	26,361	66.7%	29.7%	6,033
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	18,642 (4,508)	54.2% 13.1%	21,603 (5,388)	54.6% 13.6%	15.9% (19.5%)	2,961 (880)
営業利益	1,685	4.9%	4,757	12.0%	182.2%	3,072
営業外収益	456	1.3%	949	2.4%	107.8%	492
営業外費用	16	0.0%	37	0.1%	126.8%	21
経常利益	2,125	6.2%	5,669	14.3%	166.7%	3,543
特別利益	76	0.2%	0	0.0%	▲99.3%	▲75
特別損失	2,646	7.7%	25	0.1%	▲99.0%	▲2,620
税引前 四半期純利益	▲443	▲1.3%	5,644	14.3%	—	6,088
法人税・住民税 及び事業税	1,257	3.7%	2,118	5.4%	68.5%	861
法人税等調整額	▲1,421	▲4.1%	▲290	▲0.7%	—	1,130
四半期純利益	▲280	▲0.8%	3,816	9.6%	—	4,096

<当期のポイント>

◆原価率：前年比 7.6ポイント低下
(40.9%→33.3%)

* 低下要因：ペンタサ自社製造等に伴い低下

◆研究開発費率：前年比 0.5ポイント上昇
(13.1%→13.6%)

* 45億円→54億円 (9億円増加)
増加要因：日清キョーリン製薬の統合

◆販管費率(除R&D費)：前年比0.1ポイント減少
(41.1%→41.0%)

* 141億円→162億円 (21億円増加)
日清キョーリン製薬の統合などにより
販管費(除R&D費)は増加したものの、売上増加により
販管費率(除R&D費)は0.1ポイント低下

■ 営業利益 4,757百万円
(+3,072百万円)

* 営業利益率は12.0%と7.1ポイント上昇

■ 四半期純利益 3,816百万円
(+4,096百万円)

貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位:百万円)

	09年3月期		10年3月期第2四半期累計期間		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
流動資産	64,822	59.7%	67,755	61.2%	2,932
現金および預金	8,615		12,055		
売掛金	32,018		28,446		
有価証券	3,437		4,891		
棚卸資産	15,684		17,131		
その他流動資産	5,066		5,229		
固定資産	43,699	40.3%	42,913	38.8%	▲785
有形固定資産	13,789		13,473		
無形固定資産	486		380		
投資その他	29,423		29,059		
資産合計	108,522	100.0%	110,669	100.0%	2,147
流動負債	14,593	13.5%	14,759	13.3%	165
支払手形及び買掛金	5,423		5,623		
その他流動負債	9,170		9,136		
固定負債	5,457	5.0%	5,442	4.9%	▲14
負債合計	20,051	18.5%	20,202	18.3%	151
株主資本	89,328	82.3%	90,470	81.7%	1,142
評価・換算差額等	▲857	▲0.8%	▲4	▲0.0%	853
純資産合計	88,470	81.5%	90,466	81.7%	1,995
負債及び純資産合計	108,522	100.0%	110,669	100.0%	2,147

<当期のポイント>

■ 流動資産： 2,932百万円増

- ・現金及び預金の増加 (3,440百万円増)
- ・売掛金の減少 (3,572百万円減)
- ・有価証券の増加 (1,453百万円増)
- ・棚卸資産の増加 (1,447百万円増)

■ 固定資産： 785百万円減

- ・有形固定資産の減少 (316百万円減)
- ・無形固定資産の減少 (105百万円減)
- ・投資その他の減少 (363百万円減)

■ 流動負債： 165百万円増

- ・支払手形及び買掛金の増加 (200百万円増)
- ・その他流動負債の減少 (34百万円減)

■ 固定負債： 14百万円減

主な業績項目の推移: 杏林製薬

	08年3月期 第2四半期	09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期
売上高 (輸出高)	34,171 (2,399)	34,425 (1,758)	39,545 (1,264)
売上原価 (売上原価率)%	11,522 (33.7%)	14,096 (40.9%)	13,183 (33.3%)
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	19,571 (57.3%)	18,642 (54.2%)	21,603 (54.6%)
うち研究開発費 (研究開発费率)%	5,155 (15.1%)	4,508 (13.1%)	5,388 (13.6%)
営業利益 (営業利益率)%	3,076 (9.0%)	1,685 (4.9%)	4,757 (12.0%)
経常利益 (経常利益率)%	3,323 (9.7%)	2,125 (6.2%)	5,669 (14.3%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率)%	1,733 (5.1%)	▲280 (▲0.8%)	3,816 (9.6%)
一株当たり当期利益(円)	23.34円	▲3.78円	51.38円
資本金	4,317	4,317	4,317
総資産	104,454	106,478	110,669
純資産	86,141	85,356	90,466
一株当たり純資産(円)	1,159.87円	1,149.31円	1,218.11円
自己資本利益率%	2.0%	▲0.3%	4.2%
自己資本比率%	82.5%	80.2%	81.7%
人員(人)	1,532人	1,567人	1,733人
設備投資	729	577	624
減価償却費	1,880	1,656	1,071

09年3月期	10年3月期 (予想)
77,962 (3,148)	85,100 (2,500)
29,551 (37.9%)	—
39,894 (51.2%)	—
10,056 (12.9%)	11,700 (13.7%)
8,517 (10.9%)	11,800 (13.9%)
9,463 (12.1%)	13,300 (15.6%)
4,041 (5.2%)	8,600 (10.1%)
54.42円	
4,317	
108,522	
88,470	
1,191.24円	
4.6%	
81.5%	
1,716人	
969	1,400
3,042	2,200

10年3月期 (当初予想)
81,700 (2,600)
—
—
10,800 (13.2%)
11,400 (14.0%)
12,500 (15.3%)
7,700 (9.4%)
2,300
2,300

(単位:
百万円)

参考資料：株式会社キョーリン 個別業績と予想

単位：百万円

	2009年3月期 第2四半期 (実績)	2010年3月期 第2四半期 (実績)
営業収益	2,084	4,008
営業利益	923	2,787
経常利益	800	2,731
当期純利益	497	2,840

	2009年3月期 (実績)	2010年3月期 (修正予想)
	3,857	6,000
	1,411	3,500
	424	3,500
	150	2,900

2010年3月期 (当初予想)
6,100
3,600
3,600
3,500

参考資料：主な子会社の業績と予想

(単位:億円)

杏林製薬
売上高
営業利益
四半期(当期)純利益

09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期
344	395
17	48
▲3	38

09年3月期	10年3月期 (修正予想)
780	851
85	118
40	86

10年3月期 (当初予想)
817
114
77

キョーリン リメディオ
売上高
営業利益
四半期(当期)純利益

09年1月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期
34	41
▲4	1
▲5	1

09年1月期	10年3月期*2 (修正予想)
74	102
▲4	3
▲6	2

10年3月期 (当初予想)
103
1
1

ドクタープログラム
売上高
営業利益
四半期(当期)純利益

09年1月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期
19	16
▲1	▲2
▲1	▲2

09年3月期*1	10年3月期 (修正予想)
41	37
1	0
1	0

10年3月期 (当初予想)
38
1
1

※1:ドクタープログラムの2009年3月期業績は決算期変更に伴い、14ヶ月分を計上

※2:キョーリン リメディオの2010年3月期予想は決算期変更を予定しており、14ヶ月分を計上した業績を予想